

## 2021 年度 4-7 月 真生会館講座 ラテン教父の世界（続）

講師：荻野弘之（上智大学文学部哲学科教授、真生会館評議員）

時間：日曜日 15:00-16:30（全 9 回）

「ラテン教父」とは、2-8 世紀、ローマやアフリカなど地中海世界においてラテン語で著作を残したキリスト教思想家たちの総称です。彼らの膨大な著作の一部を日本語訳で読みながら、神学・哲学・聖書解釈から教会や秘跡の理解に至るまで、キリスト教の基本的なテーマのいくつかを取り上げて考えてみましょう。

今学期は 4 世紀のイタリア、ガリアの教父たちの足跡をたどり、教理や聖書解釈、典礼聖歌などにわたる代表的な著作を取り上げます。有名だが、一人ではなかなか読めないキリスト教の古典的著作に接近する機会です。単に講義を聞くだけでなく、自分の目で実際のテキストを読んでみましょう。受講者同士の読後感や意見も交換します。

以前の講座の継続受講者、新規の受講者ともに歓迎。一回ごとの参加でも可能です。

予備知識： 聖書とキリスト教について、多少の基礎知識があることが望ましい。

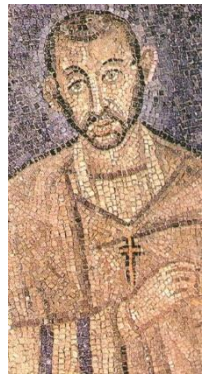
水準： 大学の一般教養科目程度の内容。 対象：学生、社会人、信徒、修道者

受講料： 各回 1,000 円、学生は無料

テキスト： 『中世思想原典集成 精選 2 ラテン教父の系譜』（平凡社ライブラリー、2,400 円）

各回の内容：（進度によって、内容は随時変更になることがあります。）

- ① 5/16 4 世紀のラテン教父
- ② 5/23 マリウス・ウィクトリヌス「賛歌」「手紙」
- ③ 5/30 ポワティエのヒラリウス「三位一体論」
- ④ 6/6 ミラノのアμβロシウス「創造の六日間」
- ⑤ 6/20 アンブロシウス聖歌とガリア典礼
- ⑥ 6/27 ヒエロニムス『隠修士パウロ伝』
- ⑦ 7/11 ヒエロニムスとウルガタ訳聖書
- ⑧ 7/18 プルデンティウスと聖歌の伝統（1）
- ⑨ 7/25 ノラのパウリヌスと聖歌の伝統（2）



**お申込み・お問合せ** 一般財団法人真生会館 〒160-0016 東京都新宿区信濃町 33 番地 4

Tel: (03)-3351-7121 Fax: (03)-3358-9700

E-mail: gakushu@catholic-shinseikaikan.or.jp URL: <http://www.catholic-shinseikaikan.or.jp>

○ 真生会館講座 「ラテン教父の世界（続）」 申し込み事項（希望日に○）

受講日： 全回 5/16、5/23、5/30、6/6、6/20、6/27、7/11、7/18、7/25

お名前: \_\_\_\_\_

ご住所: 〒 \_\_\_\_\_

緊急連絡先: TEL \_\_\_\_\_ E-MAIL \_\_\_\_\_